

中央大学国際経営学部 企業訪問報告書

調査テーマ	グローバルに活躍する近鉄エクスプレスの企業実態
調査日	2024年11月18日(月)15:00~17:00
調査先	株式会社近鉄エクスプレス 新宿輸出営業所 (東京都新宿区西新宿6丁目10-1 日土地西新宿ビル 9階)
担当 CVS	片岡 良臣、丸山 航汰、永田 葉結希
授業科目/学部企画名	訪問調査「企業訪問」
参加学生数(学年)	3年生:1名、2年生:4名、1年生:4名
調査趣旨・目的	日々世界中の企業との貿易を行う中で間違いなく、迅速に出荷できるシステムを学びました。また実際に働かれている社員の方々のお話を聞くことができました。
調査結果	<p>今回、国際物流のフォワーダーとして活躍する株式会社近鉄エクスプレスに訪問させていただきました。</p> <p>近鉄エクスプレスは、国際物流のフォワーディング事業を行う企業で、輸出業務の貨物、集荷、必要書類の手配、税関への輸出通関業務を行い、輸入業務として現地での貨物の引き取りと輸入通関業務、最終納品先までの配送を行なっている。1948年に近畿日本鉄道株式会社に設けられた業務局観光部をはじめに、1970年に近鉄航空貨物株式会社として設立された歴史のある企業である。</p> <p>国際物流は、世界中から必要な材料を調達し、それを組み立てて製品を作る過程で欠かせないインフラとなっている。調達した部品や原料は港を経由して最終的に消費者の手に届く。もし国際物流が停止すると、工場生産がストップし、販売機会を失うことになる。例えば、コロナ禍ではワクチンなどの重要な商品が届かない事態が発生した。国際物流は現代のグローバル社会において不可欠なサービスであり、「エッセンシャルワーカー」(必要不可欠な職種として社会機能を支える人々)としての役割を担っている。</p> <p>主な事業内容は、航空および海上輸送を通じて行う国際貨物の輸送である。また、港に到着した荷物に対して倉庫を提供し、顧客の希望に応じて配送するロジスティクスサービスも展開している。近鉄エクスプレスのビジネスモデルは、フォワーダー(貨物輸送機材を持たない)として機能する点の特徴である。そのため、フォワーダーである近鉄エクスプレスは、航空機や船舶、トラックなどの輸送手段を提供するキャリアと協力し、顧客のニーズに応じた柔軟な輸送手段を提案できる。主な顧客は法人であり、法人向けのサービスを提供している。また、複雑な国際物流を効率的に管理するために、フォワーダー事業とロジスティクス事業を組み合わせたサービスを展開している。例えば、SAFプログラム(Sustainable Aviation Fuel: 環境負荷を低減するための持続可能な航空燃料の使用プログラム)への参加を拡大し、環境負荷を低減する取り組みも行っている。さらに、顧客のサプライチェーンが常に変化する中で、半導体製造装置の輸送など、特に専門的な知識と現場力を活かして、顧客のニーズに丁寧に対応している。世界中に広がるネットワークを活用し、どの国や地域でも迅速で安全な物流を実現している点も近鉄エクスプレスの特徴の一つである。業務は多岐にわたり、主に営業、カスタマ</p>

ーサービス、通関、オペレーション、経理、情報システムなどの職種がある。

また、今回は新入社員の方とお話をする時間を設けて頂いた。近鉄エクスプレスに就職するにはどんなスキルが求められるか若手社員の方にお伺いしたところ、近鉄エクスプレスでは、国際物流に関する知識や海外とのやり取りが求められるだけでなく、コミュニケーション能力や問題解決能力も重要なスキルとされているとのことだった。また、自分が担当する業務の量や複雑さの変化に柔軟に対応する必要もあるそうだ。さらに、会社の説明や質疑応答だけでなく、実際に社内のフロアを見学し、業務内容の説明を受けた。それぞれ社員が複数の国や企業を担当しており、その多忙な業務環境が伺えた。オフィス内は協力的な雰囲気、相談しやすい環境が整っていた。特に海上チームはテレワークを多く活用しており、柔軟な働き方が進んでいた。また、研修制度がしっかりしており、新入社員のスキルアップを支援する環境が整っていると伺った。社員の方々の生き生きと仕事をする姿や新入社員の方がとても楽しそうに仕事のやりがいを話す姿を見て、卒業後の進路に対する漠然とした不安が和らぎ、社会人として働くのが楽しみになった。

最後に、近鉄エクスプレスは、グローバルなネットワークと多様な物流サービスを提供し、国際物流の重要な一翼を担っている企業であることを理解できた。特に顧客のニーズに合わせた柔軟な対応力と、質の高い品質のサービスが強みだと感じた。今後益々重要性を増す国際物流市場において、近鉄エクスプレスは必要不可欠な役割を担っていることを理解できた。

※調査時の写真



実際に働かれている社員の方と座談会にてお話を伺いました。



最後に集合写真を撮影して締めくくりました。貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。